

2024年11月13日

【報道関係各位】

一般財団法人倉敷成人病センター  
株式会社せとのわ  
株式会社ブルーオーシャンスマートシステムズ

## 最先端の低侵襲ロボット手術と岡山県での医療ツーリズムを推進

一般財団法人倉敷成人病センター（倉敷市白楽町 250 理事長 安藤正明）、株式会社せとのわ（岡山市北区本町 2-5 代表取締役 小林靖典）および株式会社ブルーオーシャンスマートシステムズ（岡山市北区平野 765-19 代表取締役 白井典之）は共同で、一般財団法人倉敷成人病センターを代表団体として、このたび厚生労働省が実施する令和 6 年度「地域の医療・観光資源を活用した外国人受入れ推進のための調査・実証事業」の実証事業地域の公募に、「倉敷成人病センターの最先端の低侵襲ロボット手術と岡山県の観光資源を組み合わせた事業(以下「本実証事業」)」を応募したところ、実証事業地域として採択されました。

本実証事業では、世界中の患者に安全で最先端の医療を提供するとともに、倉敷地域をはじめとした岡山県の魅力的な観光資源を組み合わせ、医療ツーリズム推進に取り組んで参ります。

なお、この取り組みの一環として、中国北京市で 2024 年 11 月 21 日から 23 日にかけて開催される「北京国際医療観光展示会」に出展致します。この展示会では、岡山県倉敷地域の医療と観光を融合したプランの展示など、外国人患者へ医療サービスの提供と地域観光の魅力を発信します。

### ■ 一般財団法人倉敷成人病センターの最先端の低侵襲ロボット手術について

一般財団法人倉敷成人病センター婦人科では、全国に先駆けて低侵襲手術の導入を進め、豊富な実績を積み重ねて参りました。2023 年には、最新の手術支援ロボット「ダヴィンチ SP」を導入し、女性特有の良性疾患（子宮筋腫、子宮腺筋症、卵巣のう腫など）に対し、女性の膣を経由したお腹に傷をつけない手術を実施しております。この革新的な手術は手術後の回復が早いことはもちろんですが、お腹に傷が残らないため、術後の心理的な負担も少なくなることが特徴です。

この手術は、日本ロボット外科学会婦人科領域において日本国内で唯一国際 A 級ライセンス認証を受けている安藤正明医師が行います。一般財団法人倉敷成人病センターは日本国内でも最も多くの婦人科ロボット手術を行っている施設であり、国内外から高い信頼を得ております。国内の患者様に加え、希望される外国人患者様に対しても、最高水準の技術と安心の医療サービスの提供を目指します。

### ■ 医療ツーリズムに取り組む背景

岡山県は、大規模病院が複数立地し高度な医療サービスを受診できる環境を有しています。また、観光面では、後樂園や美観地区など魅力的な歴史・文化資源や自然、食材に恵まれています。このため、質の高い滞在型医療の拠点としてのポテンシャルを持っています。

一般財団法人倉敷成人病センターは、これまでも海外からの患者を受け入れていますが、もちろん手術などの治療を目的とした滞在が中心でした。今後は、地域商社の株式会社せとのわとコンサルティング会社の株式会社ブルーオーシャンスマートシステムズと連携して、医療と観光を融合した医療ツーリズムを提供します。この医療ツーリズムの提供により、患者およびその家族においては日本での滞在がより充実すること、地域においては地域特性を活かした医療と観光を融合したインバウンド誘致による経済活性化が期待できます。

## ■ 体制整備と今後の展望

(1) 本実証事業を通じ以下の体制整備を行います。

- ・ 海外の医療関係者と連携して、プロモーションから患者の受入調整、診療、帰国後のフォローアップについての一連の流れを構築。
- ・ 患者と家族に対する医療と観光を融合したサービスを提供するうえでの課題を洗い出し、行政とも連携して解決策を検討。

(2) 今後の展望として、以下の拡充を図り、より実効性のあるインバウンド誘致の実現に向け取り組んで参ります。

- ・ 医療機関および診療科目の拡大など医療サービスの拡充
- ・ 瀬戸内地域への観光エリアの拡大など観光コンテンツの拡充
- ・ 様々な国からのインバウンド誘致に向け、ターゲット国の拡充

## ■ 参考：医療ツーリズムについての国の方針

(1) 2023年に閣議決定された新たな「観光立国推進基本計画」

観光立国の持続可能な形での復活に向け、観光の質的向上を象徴する、「持続可能な観光」、「消費額拡大」、「地方誘客促進」の3つを柱に、「持続可能な観光地域づくり」「インバウンド回復」「国内交流拡大」に戦略的に取り組むことを掲げており、特に、「インバウンド回復」においては、2025年に向けて全国津々浦々で観光回復の起爆剤となる取組を集中的に展開することとしています。

(2) 2023年5月に決定された「新時代のインバウンド拡大アクションプラン」

従来の観光にとどまらず、ビジネス、教育・研究、文化芸術・スポーツ・自然といったそれぞれの分野における取組によって人的交流を拡大させ、またそれらの取組の相乗効果を発揮させることで、日本の魅力発信（プロモーション効果）や、リピーターとしての訪日及び国際相互理解の増進、我が国における新たな価値の創造につなげていくことを掲げています。このような状況の中で、日本の優れた医療と地域資源を活かした観光要素を組み合わせた滞在プラン等を提供することは、日本の医療技術・サービスの更なる充実に寄与するほか、海外からの外国人受入れ推進、地方誘客や旅行消費額の拡大を進めるとともに、諸外国の国民の健康寿命の延伸に貢献できるものと期待されています。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

一般財団法人倉敷成人病センター

広報推進室 山下由美子、佐藤健司

E-mail : ta\_satou@fkmc.or.jp

TEL 086-422-2111 (代表) FAX 086-422-4150 (代表)

株式会社せとのわ

事業部 三好隆弘、向坂悠希

E-mail : t.miyoshi@setonowa.co.jp, y.kousaka@setonowa.co.jp

TEL 086-201-1223 (代表) FAX 086-232-1011 (代表)

株式会社ブルーオーシャンスマートシステムズ

サービスマネージャー 福本浩子

E-mail : fukumoto-h@blueoceanss.co.jp

TEL 086-903-3044 (代表)

(追記)

本リリースは、倉敷市役所倉敷記者クラブおよび岡山経済金融記者クラブに情報提供いたします。